



☆家読の楽しさをみなさんにもお伝えします! ☆



瑞穂野地域学校園では、『家読』の感想を各校へ寄せていただきました。本を読んで感じたことや感想、『家読』の楽しさなどを、児童・生徒または保護者の皆様から教えていただきましたので、その一部をご紹介しますと思います。

今月は全国的な取り組みである読書週間があります。ぜひ引き続き『家読』を身近な取り組みとしていきましょう。

瑞穂台小学校

本を読んで感じたことや感想、『家読』の楽しさ

なんでみずはつめたいのかな？なんではっぱってつめたいの？（瑞台小 1 年）
大人は作者の伝えたい事を考え、子どもはその時の自分の気持ちや疑問をなげかけてきて、視点や観点が違うことが面白いと思いました。今後も家読を続けていきたいなと思いました。

『てのひらおんどけい』浜口哲一（瑞台小 1 年保護者）

おさるが山のとっぺんまでのぼるのがすごいとおもいました。ぼくも山の気持ちになってみたいです。

（瑞台小 2 年）

小さなおさるが大きな山に登って山の気持ちを考えるという絵本なのに壮大なテーマの本でした。同じ本を読んで感想を話し合うということをやなかなか日常でしていないので、こういう時間を、もうけていきたいです。

『おさるのやま』いとうひろし（瑞台小 2 年保護者）

「どのページまで読んだ？」といいながら楽しく読みました。（瑞台小 3 年）

どの登場人物が好きか、どのシーンがかっこよかったか等、母娘で盛り上がりました。

結局「守り人シリーズ」三冊全て読破しました。『精霊の守り人』上橋菜穂子（瑞台小 3 年保護者）

ニコとニキがパトリシアにいじわるをされていたけど、パトリシアががけにおっこちてしまったとき、ニコとニキがいっしょうけんめいにパトリシアをおんぶしてがけをのぼっていたのがえらいと思いました。

（瑞台小 4 年）

「たとえどんな子がいたってやさしくする。そうすれば最後は必ず心がつうじるもの」この部分が大好きな本です。みんながこのことを忘れずに毎日を送ってくれたらいいと思います。絵がとってもかわいくて心温まる本でした。

『へっぽこまじょ ニコとニキ』あいはらひろゆき（瑞台小 4 年保護者）

他のココロはきょくたんで、自分のココロが一番いいので、わたしも自分のココロを大切にしたいと思った。

（瑞台小 5 年）

“ココロを入れ替える”という作者の発想に驚きました。ココロを入れ替えた後のココロ屋さんの「ココロ残り」「ココロして」「良いココロがけ」等の言葉も印象的でした。栃木県出身の梨屋アリエさんの「あとがき」も面白かったです。

『ココロ屋』梨屋アリエ（瑞台小 5 年保護者）

この本を読んで手足がなくても人を笑顔に元気にさせることができるのだなと思いました。私は手足がある分もっともってがんばっていきたくてと思いました。

（瑞台小 6 年）

子どもと同じ本を読んで感想を話し合うことは、子どもがどのように感じたか知ることができ、私の気持ちも伝えることができ、とても大切なことだと感じました。

『手足のないチアリーダー』佐野有美（瑞台小 6 年保護者）

瑞穂野南小学校

本を読んで感じたことや感想、『家読』の楽しさ

小さな大豆が、色々な機械や人の手によって変化していく様子に興味を示し、感心していました。好き嫌いが多いので、毎日自分が口にしている食べ物に興味を持ってもらえたら嬉しいなと思います。

『おとうふやさん』飯野まき（瑞南小 1 年保護者）

おんなのこと いぬがつかまって、そしたら どうぶつたちが たすけにきてくれた。ぼくも こまっているひとがいたら たすけたいです。

『まじょのかんづめ』佐々木マキ（瑞南小 1 年）

死というものが怖いというイメージでしたが、少し変わった気がします。生まれ変わったらなりたいものを考えたり、どうしてほしいかを家族で話すことができて楽しかったです。

『このあとどうしちゃう』ヨシタケシンスケ（瑞南小 2 年保護者）

主君のために、民のために、一生懸命策を練り、どうすればすべての人が戦いの無い平和な時を過ごせるのかを、心血を注いで考え抜いた人です。ぼくも、人のために何ができるか考えます。

『黒田官兵衛』水谷俊樹（瑞南小 4 年児童・保護者）

ロボを読んで、ぼくは少し悲しくなりました。ロボの仲間を思いやる気持ちに、とても感動しました。他のシートン動物記も読んでみたいです。

『オオカミ王ロボ』シートン（瑞南小 5 年）

ぼくが心に残ったのは、漁師は 1000匹の中の 1匹を釣り、海を大切にすることです。ここは海に近くありませんが、海を大切にしたいと思いました。

『海のいのち』立松和平（瑞南小 6 年）

瑞穂野北小学校

本を読んで感じたことや感想、『家読』の楽しさ

朝起きると本をよんでいる姿は、とてもえらかったです。あさの読書タイムはとてもいいじかんだとおもいますよ！これからもつづけてみようね。

（瑞北小 1 年保護者）

虫のことをいろいろ知ることができて、楽しかったです。

『なつやすみ虫ずかん』宮武頼夫（瑞北小 2 年）

虫たちのことを子どもから教えてもらいました。へーっと驚くことばかりでした。

（瑞北小 2 年保護者）

打ったり、ナイスプレーをしたり、プロ野球選手たちはすごい新記録をのこしていた。伝説のようにかがやいていく選手を追いかけ、ぼくもがんばりたいです。

『プロ野球のスゴい話』高橋安幸（瑞北小 3 年）

本を読んでおぼえたことを教えてくれたり、クイズにしてくれたり、母もとてもたのしかったです。これからも、本が大好きでいてください。

（瑞北小 4 年保護者）

弟の誕生日にケーキをたべたあと、『まよなかのたんじょかい』（西本鶏介）を読んであげました。喜んでもらえてうれしかったです。

（瑞北小 5 年）

家で本を読むと集中して、時間を忘れてしまいます。本を読むことは本当に楽しいです。

（瑞北小 6 年）

瑞穂野中学校

本を読んで感じたことや感想、『家読』の楽しさ

家読は家族と一緒に読んだり、自分の好きな時間に読めるのでおすすめです！（瑞中 1 年）

家読は学校とは違って、好きな時間に読めるので気分転換やリラックスができると思うので、おすすめです！（瑞中 2 年）

自分の本や好きな本を自由に読むだけです。誰でもできるので、ぜひやってみてください。（瑞中 3 年）

〇感想などは原文をそのまま掲載させていただきました。

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。（瑞穂野地域学校園）